

畑安次教授 略歴・業績目録

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-03 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/27670

畑安次教授 略歴・業績目録

略 歴

- 一九四五（昭和二〇）年四月
- 一九六四（昭和三九）年三月
- 一九六八（昭和四三）年三月
- 一九六八（昭和四三）年四月
- 一九七〇（昭和四五）年三月
- 一九七四（昭和四九）年四月
- 一九九一（平成〇三）年四月
- 一九九五（平成〇七）年四月
- 一九九六（平成〇八）年四月
- 一九九六（平成〇八）年四月
- 一九九九（平成一二）年九月
- 二〇〇〇（平成一二）年四月
- 二〇〇四（平成一六）年四月
- 三重県に生まれる
- 三重県立伊勢高等学校卒業
- 同志社大学法学部法律学科卒業
- 同志社大学大学院法学研究科公法学専攻修士課程進学
- 同右修了（法学修士）
- 金沢大学教養部助教授
- 金沢大学教養部教授
- 金沢大学教養部長（金沢大学評議員に併任）（一九九六年三月まで）
- 金沢大学法学部教授に配置換え
- 金沢大学教養教育運営委員会委員長（二〇〇〇年三月まで）
- 金沢大学評議員（二〇〇〇年三月まで）
- 金沢大学学長補佐
- 金沢大学副学長（二〇〇四年三月まで）
- 金沢大学大学院法務研究科教授・同研究科長（二〇〇六年三月まで）

まで)

二〇〇六(平成一八)年四月

金沢大学大学院法務研究科副研究科長(二〇一〇年三月まで)

学会活動・社会活動

所属学会 日本法哲学会 日本公法学会

在外研究

一九八七(昭和六二)年四月二〇日 文部省短期在外研究員として渡仏し、ボルドー大学

及びパリ第二大学にて、四ヶ月に亘りジャン・アンベール(Jean Imbet)教授及びアルベール・ブリモ(Abert Brimo)教授から論文指導を受けるとともに、資料収集にあたる。

学会発表 一九八九(平成元)年十一月一六日

日本法哲学会学術大会(岡山大学)にて、「一八世紀フランス憲法原理の法思想的考察」のテーマで報告する。

社会活動 二〇〇九(平成二〇)年四月 白山市情報公開審査会委員長・同個人情報保護審査会委員

長(現在に至る)

白山医療企業団情報公開審査会委員長・同個人情報保護審査会委員長(現在に至る)

加賀市情報公開審査会委員長・同個人情報保護審査会委員長
(現在に至る)

二〇〇五(平成一七)年一〇月 日弁連法務研究財団・法科大学院認証評価事業評価委員
(二〇〇七年一〇月まで)

主要著書・論文等一覽

著書目録

- 『現代と憲法』文理閣 一九七五年 上野裕久・鴨野幸雄ほか四名との共著
『デモクラシーと法』ミネルヴァ書房 一九九四年 (舟越耿一との共編著)
『デモクラシーと憲法』ミネルヴァ書房 一九九九年 (舟越耿一との共編著)
『日本国憲法―主権・人権・平和』ミネルヴァ書房 二〇一〇年(編著書)
『一八世紀フランスの憲法思想とその実践』信山社 二〇一〇年(著書)

論文

- 「G・ビュルドーの抵抗権理論」同志社法学(同志社法学会) 一一八号 五九―七九頁 一九七〇年一月三〇日
○「ソリダリスムの法理論―その思考方法と論理構造」同志社法学一一九号 四五―七〇頁 一

九七一年三月三一日

○「レオン・デュギーの憲法改正論——憲法改正機関の権限をめぐって」田畑忍編『憲法の改正と法律の改正』（評論社）所収 一九七二年七月二〇日

○「フランス憲法学形成期の実証主義——「国民主権」に関するA・エスマンとL・デギーの所説の検討」同志社法学一二六号 六〇—八七頁 一九七三年一月三二日

○「デュギーの法理論に関する若干の考察」日本法哲学会編 法哲学年報『正義』（一九七五）一九七五年一〇月三〇日

○「レオン・デュギーの実証主義——ルソー批判を中心として」同志社法学一五〇号 四九—八四頁 一九七八年一月三一日

○「フランス法思想と議會制民主主義——モンテスキュー、ルソーそしてデュギー」田畑忍編『議會制民主主義の研究』（法律文化社）所収 一九七八年一〇月一日

○「ルソーとデュギー」金沢大学教養部フランス語研究室編 HORS DE COMMERS 第四号一九—三二頁 一九七九年三月三〇日

○「レオン・デュギーの初期法思想」金沢大学教養部論集・人文科学篇一八号 九五—一一七頁 一九八一年三月二六日

○「一八世紀フランス人權思想の一潮流」矢崎光圀・八木鉄男篇『近代法思想の展開』（有斐閣）所収 二三五—二五六頁 一九八一年四月三〇日

○「フランス第三共和制憲法成立前史——「国防政府」の成立からティエールの退陣まで」金沢大学教養部論集・人文科学篇二〇号一—一九頁 一九八三年三月三〇日

- 「法の準則もしくは客観法の理論——L・デュギーの中期法思想の研究(二)」金沢大学教養部論集・人文科学篇二二—一七頁 七七—一〇七頁 一九八四年一〇月三—二日
- 「正義のサンチマン」と「圧制への抵抗」の理論——L・デュギー」大橋・田中・深田編『現代の法思想』(有斐閣) 所収 五五—七四頁 一九八五年三月三〇日
- 「フランス第三共和制憲法の成立」金沢大学教養部論集・人文科学篇二三—一七頁 五五—八五頁 一九八五年八月三—二日
- 「一八世紀フランス憲法思想の一潮流——ケネー、シェイエス、一七八九年人権宣言」金沢大学教養部論集・人文科学篇二四—一七頁 八三—一〇七頁 一九八六年八月三—二〇日
- 「ルソー、ロベスピエールと一七九三年六月二四日の憲法」金沢大学教養部論集・人文科学篇二六—二二頁 一九八九年三月二—二五頁
- 「一八世紀フランス憲法原理の法思想史的考察」日本法哲学会編法哲学年報『現代における「個人—共同体—国家」』(有斐閣) 所収 一三一—一四〇頁 一九九〇年八月二—二五頁
- 「デュギーと自然法」八木鉄男・深田三徳編『法をめぐる人々思想』(ミネルヴァ書房) 所収 二二七—一四二頁 一九九一年一月三—三〇日
- 「アンシャン・レジーム末期におけるパルルマンの憲法思想」金沢大学教養部論集・人文科学篇三〇—二二頁 五九—八九頁 一九九三年三月三—三〇日
- 「モンテスキューの憲法思想とパルルマン」金沢大学教養部論集・人文科学篇三一—一七頁 二二三—一四九頁 一九九三年八月三—三〇日
- 「モレリの憲法思想」同志社法学四六卷三・四号 二五三—二七九頁 一九九五年一〇月一—二日

- 「マブリの憲法思想」金沢法学四〇巻一号 二二五―二六二頁 一九九八年一月三一日
- 「バブーヴィストの憲法思想」金沢法学四〇巻二号 六五―一〇〇頁 一九九三年三月三〇日
- 「フランス一七九三年憲法における主権の帰属性と正当性」金沢法学四一巻二号 二三五―二六五頁 一九九九年三月二五日

- 「デイドロの憲法思想」同志社法学五二巻六号 二二二―二五一頁 二〇〇一年三月三一日
- 「教育行政の合法性と正当性」金沢法学四五巻一号 一一二六頁 二〇〇二年一月二五日
- 「日本国憲法における「公共の福祉」と社会契約・社会連帯」金沢法学四六巻二号 一一―四一頁 二〇〇四年三月二五日

- 「憲法・教育基本法と教育行政」金沢大学教育開放センター紀要二六号 五五―六七頁 二〇〇五年二月二五日

- 「ルソーの「一般意志」論」金沢法学五〇巻二号 一一二八頁 二〇〇八年三月二五日

その他の論文

- 「フランスの法思想」田畑忍編『法学入門』法律文化社 一九七九年五月三日
- 「フランスの政治思想」田畑忍編『政治学序説』法律文化社 一九八〇年五月二〇日
- 「日本国憲法の基本原理」恒藤武二編『教材法学』第二編第一章 法律文化社 一九八三年四月一〇日

- 「統治機構」恒藤武二編『教材法学』第二編第二章 法律文化社 一九八三年四月一〇日
- 「地方自治」恒藤武二編『教材法学』第二編第三章 法律文化社 一九八三年四月一〇日

○「学習権と「学生」による授業評価」金沢大学教養教育研究調査部報第一号 五一―六〇頁 一九九七年三月

○「大学教育行政と教養教育」金沢大学教養教育研究調査部報（金沢大学教養教育機構研究調査部編）第四号 一一―一三頁 一九九九年三月

○「新たな「戦前」のはじまり」朝日新聞大阪本社「論壇」一九九五年五月二日

○「課題探求能力の育成と教養教育」文部省高等教育局編『大学と学生』四三五号 七一―一三頁 二〇〇一年三月一〇日

判例評釈

○「出版と国家公務員の機密漏洩——「不正者の天国」事件」マスコミ判例百選（第二版）別冊
ジュリスト八五号（有斐閣）所収